



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKOROZAWA

11月 2021年度 通巻 384号

(AFS アレキサンダースカラシップファンド)



会長 東 裕二	クラブ会長主題 「つづけていこう」
副会長 小関京子	国際会長 キム・サンチュ(韓国)「世界とともにワイズメン」
書記 大澤和子	アジア太平洋地域会長 大野 勉(神戸ポート)「100年を越えて変革しよう」
会計 金本伸二郎	東日本区理事主題 大久保知宏(宇都宮)「私たちは 次の世代のために 何ができるか？」
	関東部部長主題 大澤和子(所沢)「私の地域から世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワッ！」

今月の聖句

「鉄は鉄をもって研磨する。人はその友によって研磨される」箴言 27:17

11月例会プログラム (リモート例会)

日時 2021年11月11日(木) 18:30

司会 東京ひがしクラブ 金丸メン

1. 開会点鐘 東会長
2. 聖書・祈り 澁谷メン
3. ゲスト紹介、出席者自己紹介
6. 卓話 「子ども食堂への支援活動」
所 沢: 矢馳 一郎 (NPO 法人まちのつながり推進室 代表)
上山 武夫 (フードバンクいるま)
夢はうす (夢だいにんぐ) & フードバンクいるま

ひがし: 沖 利柯担当主事
下町子どもダイニング&フードパントリー

意見交換 (質疑応答など)

7. YMCA 報告 小谷総主事
8. ワイズ報告 東会長
9. 誕生・結婚記念
10. 閉会点鐘 東京ひがしクラブ高野会長

10月例会 (合計 10名)

所沢クラブ 4人 ビジター2人 ゲスト 4人

心の安定がもたらすもの 澁谷弘祐

書くことが見つからず随分悩みましたが、コロナ禍で一層期待された働きとして教誨師について改めて書くことに致しました。教誨師とは刑務所や拘置所または少年院等に収容されている方に対して、依頼に応じ当人の希望する宗教による世話をさせて頂くボランティアです。新型コロナウイルスの感染者が爆発的に増えた際には中止でしたが10月より再開となり希望に応じて出向いています。宗教教誨の一番大切な働きは日本国憲法が信教の自由を保障しており、その必要に応えることにあります。希望者の宗教的欲求を満たし信仰上の問題に応える。そこから波及して心の安定が生じます。1対1の場合もあれば数人を前に行う場合もあります。私を例にとると個人では30分、グループでは40分が目安ですので、その持ち時間をどのように生かして参加者の希望を満たすのか毎回試行錯誤しています。心がけていることは常に共感の意思を示すこと(同意ではありません)、微笑む程度の柔和な雰囲気維持すること(心の緊張を解すためです)、1回毎に結論を出すこと(次回参加するとは限りません)です。教誨のはじめ・途中・終わりで一人一人を見返し笑顔が見られたかあるいは表情が堅くなったかを記憶して、徐々に関心を探り次の機会があった場合に備えます。心の安定は笑顔で感じ取っています。そしてある日突然自分の犯罪を告白されます。遂に自分自身の過去と向き合う心の強さを回復したと思って胸をなで下ろす瞬間です。緊張が溶けてホッとした様子の笑顔があれば、僕も嬉しいと伝えるようになりました。心の安定がもたらす信頼を大切に思う日々です。

10月例会報告

大澤 和子



日時：2021年10月9日(土)18:00~20:00

場所：ZOOM

参加：卓話者 埼玉YMCA 総主事 小谷全人さん
東日本区書記の衣笠さん、川越クラブ会長吉野さん、
会友の木下さん、浅羽メネット、元YMCA フィリピン
ワークキャンパー佐藤さん、その友人の木村さん総
勢10名のオンライン例会でした。

卓話「2020年度のYMCA報告」と題して、コロナ禍におけるYMCAの活動についてお聞きしました。まずその活動は、私たちの嘆きを聞かれ、癒し、子どもたちを愛する神への祈りから始まったと。

そして世界のYMCAの現状が説明されました。50%は閉鎖を含めた存在危機状態にあることを知って、驚きました。



日本のYMCAも困難の中にあって、「学びと体験を止めない」「心無い偏見を生まない」など、計画を立てて前進している様子を聞いて、頼もしく思いました。個人、公的機関、企業からポジティブネット基金が2億円(2020年12月)集まり、困窮家庭や留学生の生活支援、子育て支援、学習支援などに使われ、YMCAを支えるワイズメンズクラブの一員として、自覚を新たにしました。

準備例会報告

東 裕二

出席者：小関、大澤、澁谷、澁谷(実)、東

1. ブリテン11月号の内容(担当)
2. IBCについて
3. 国際支援について
4. 12月例会について
5. 1月例会 1/15(土) 予定
6. 例会の開催日時の再検討
7. その他

ワイズ報告

東 裕二

・12月の例会は例会形式ではなく12/11(土)に行われる埼玉YMCA祝会に参加します。詳しい内容が分かりましたら連絡します。

- ・11月ブリテン一面：澁谷、例会報告：須田
- ・12月ブリテン一面：上山、例会報告：澁谷
- ・1月ブリテン一面：黒田、例会報告：上山
- ・2月ブリテン一面：小野塚、例会報告：黒田

関東東部大会報告

東 裕二

10/2(土)に関東東部大会をZOOMにて開催しました。第1部は立教大学講師の萩原なつ子先生による記念講演、第2部部大会、第3部懇親会の三部構成で行いました。120名を超える方が参加し、とても有意義な部大会となりました。ホストクラブである所沢クラブ、埼玉3クラブとして埼玉、川越クラブの方々、クラブ・部を超えて多くの方の協力のもと開催できたことに感謝いたします。

ZOOMでの開催ですので従来の部大会よりは準備が少なかったですが、それでも何度も打ち合わせをしました。関東東部の順番で行くと、クラブ会員の若返り、会員増強が出来ていない弱小埼玉3クラブが3年後にまた部大会の準備をすると思うと不安になります。部大会は毎年やらないといけないものなのか？2年または4年に一度開催でもいいのではないのか？開催がない年はよその部大会に出席するのが楽しいのでは？そんなことを考える部大会でした。

〈一般参加者宮地輝子さんの感想〉

先生は有名な先生なのに、親しみを感じる、明るい方で、お話も分かりやすくこれからの時代の生き方を示してくださる、とても良いお話でした。

現在も、すでに、そのような生き方をしている人はいるのだと思いますがこれからの世の中、一層、先生のお話のように、増えていくことだと思いました。

自分に置き換えると、先生のお話とは真逆のような生き方をしてきた私にははて、どうしたものかと戸惑ってしまいます。もし、私が、そのような生き方ができていたら苦労はなかったろうにと思いますが、それができる環境・世の中ではなかったと思います。また、最近はずべてを違いがないようにと男性・女性の分け方をしないですべてを一緒に・・・という傾向も、体力など、どうしても違う点もあるのに、どうすればよいのかなど、知識のない私は悩むところです。

でも、これからの時代、先生のお話のように変わっていくのは確実だろうと思います。そうしてそうなることが必要であるだろうと思います。

世の中の第一線の先生や、活躍の皆様のお話を、こうして間近にお聞きする機会をいただき、ありがたく思うばかりです。いつもありがとうございます。



今後の行事予定

- 11/11 (木) 18:30 11月例会 (東京ひがしクラブと合同オンライン例会)
- 11/20 (土) 13:30 第2回関東東部リモート親睦会
- 12/11 (土) 18:00 12月例会
(YMCA クリスマス祝会に参加)
- 1/15 (土) 18:00 1月例会 (卓話小林勉さん)
- 2/12 (土) 18:00 2月例会 (卓話高次機能障害の話)

YMCA 報告

小谷 全人



期間：11月3日(祝・水)～11月23日(祝・火)
※11月28日(日) 閉会式(結果発表会・抽選会等)

私たちは障がいのある子どもたちを応援しています

第22回埼玉 YMCA

インターナショナルチャリティラン

期間：11月3日(祝・水)～11月23日(祝・火)

「閉会式は11月28日(日)(結果発表会・抽選会等)」

申込：10月18日(月)より、浦和・所沢・川越の各センター及び QR コードにてお申込みいただけます。是非ご参加ください。

エントリー方法	お問い合わせ
<p>①URLもしくはQRコードから申込み、または事務局へご連絡ください https://sa.yamca.jp/0505/</p> <p>②エントリー完了と同時に抽選内容等の書類をお送りします ※締切り11月14日(日)</p>	<p>インターナショナル・チャリティラン事務局 〒359-1141 埼玉県所沢市小手指町1-39-2 公益財団法人 埼玉 YMCA 所沢センター内 Tel 04-2939-5051 Fax 04-2939-5099 Mail saitamacharityrun@saitamaymca.org 担当 川久保 祐美/大井 恵美子</p>

埼玉 YMCA を支えるチャッチャ茶トリオを ご購入ください。



- ほうじ茶
90 g 500 円
- 粉茶
200 g 1000 円
- 煎茶
100 g 1000 円

お茶会計から、埼玉 YMCA チャリティランに3万円を寄付させていただき生きづらさを抱えた子どもたちへの教育に役立たせていただきます。お茶のご購入ありがとうございます。